

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月12日

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所 東
 コード番号 2981 URL https://landix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-3427-7711
 四半期報告書提出予定日 2020年11月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,352	△32.3	160	△78.3	143	△80.3	95	△80.9
2020年3月期第2四半期	4,948	—	740	—	730	—	500	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 95百万円(△80.9%) 2020年3月期第2四半期 500百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.17	33.73
2020年3月期第2四半期	214.21	—

(注) 1. 当社は2019年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注) 2. 2020年3月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,437	4,462	60.0
2020年3月期	8,157	4,474	54.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,462百万円 2020年3月期 4,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,305	2.7	416	△58.5	372	△61.6	253	△62.5	90.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	2,803,093株	2020年3月期	2,775,393株
2021年3月期2Q	78株	2020年3月期	一株
2021年3月期2Q	2,795,530株	2020年3月期2Q	2,334,693株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、業種・業界にかかわらず、国内外における新型コロナウイルス感染症による影響により、経済活動に大きな鈍化が見られましたが、その後の緊急事態宣言の解除を受けて経済活動が徐々に再開され、政府による各種給付金や企業の資金繰りの支援の強化等の政策もあり、緩やかながら回復の兆しを見せつつあります。一方、個人消費については活発とはいえない状況であり、企業収益力が低下する中、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する国内の不動産住宅市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響による住宅に対する概念の変化や、現住居への不満をきっかけとして顧客の購買意欲の増加が見られました。特に、当社グループの商圏である東京の城南エリア（世田谷区、目黒区、渋谷区、港区、大田区、品川区）においては大きな不動産相場下落はみられず、市場動向は堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループにおいては、お客様と従業員の安全を最優先に考え、リモートワークを中心とした感染拡大の抑制に必要な対策、対応を継続してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響による住宅ニーズの高まりから第2四半期会計期間においては集客数は大きく増加しましたが、第1四半期会計期間における外出自粛ムードが当社グループの業績に影響を及ぼしました。なお、累計顧客データ数をはじめ、「sumuzu」サイトのPV数やユニークユーザー数は着実に増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,352,007千円（前年同期比32.3%減）、営業利益は160,716千円（前年同期比78.3%減）、経常利益は143,993千円（前年同期比80.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95,524千円（前年同期比80.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①sumuzu事業

第2四半期会計期間におきましては、住宅ニーズの高まりから集客数が大きく増加し、不動産売買が好調に推移しましたが、第1四半期会計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの事業活動に大きな影響を及ぼしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,325,457千円（前年同期比32.3%減）、セグメント利益は264,808千円（前年同期比68.4%減）となりました。

②賃貸事業

賃貸事業においては、居住用の収益物件においては新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による急な退去などはなかったもののリゾート施設における賃料収入においては落ち込みがみられました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は25,748千円（前年同期比28.1%減）、セグメント利益は11,370千円（前年同期比44.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、719,260千円減少の7,437,921千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、711,315千円減少の5,405,192千円となりました。これは主に現金及び預金が587,662千円減少し、たな卸資産が102,796千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、7,944千円減少の2,032,728千円となりました。これは主に有形固定資産が4,634千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、706,848千円減少の2,975,416千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、663,052千円減少の1,793,480千円となりました。これは主に短期借入金が443,676千円減少し、未払法人税等が173,093千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、43,795千円減少の1,181,936千円となりました。これは主に長期借入金が41,893千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、12,412千円減少の4,462,504千円となりました。これは主に剰余金の配当を138,769千円実施したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益を95,524千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は影響が残ることを前提としております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,691,032	3,103,369
たな卸資産	2,240,509	2,137,712
その他	184,966	165,030
貸倒引当金	—	△920
流動資産合計	6,116,507	5,405,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	420,047	420,047
減価償却累計額	△98,075	△105,554
建物及び構築物（純額）	321,972	314,493
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△22,451	△24,128
車両運搬具（純額）	5,928	4,251
工具、器具及び備品	19,338	19,017
減価償却累計額	△12,638	△13,336
工具、器具及び備品（純額）	6,699	5,681
土地	1,558,470	1,560,376
建設仮勘定	—	3,635
有形固定資産合計	1,893,071	1,888,437
無形固定資産	411	361
投資その他の資産	147,190	143,929
固定資産合計	2,040,673	2,032,728
資産合計	8,157,181	7,437,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,843,701	1,400,025
1年内返済予定の長期借入金	83,684	83,753
未払法人税等	235,021	61,927
賞与引当金	1,414	25,788
その他	292,711	221,985
流動負債合計	2,456,533	1,793,480
固定負債		
長期借入金	1,166,628	1,124,734
その他	59,103	57,201
固定負債合計	1,225,731	1,181,936
負債合計	3,682,265	2,975,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,210	474,722
資本剰余金	672,078	687,590
利益剰余金	3,343,627	3,300,382
自己株式	—	△191
株主資本合計	4,474,916	4,462,504
純資産合計	4,474,916	4,462,504
負債純資産合計	8,157,181	7,437,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,948,759	3,352,007
売上原価	3,656,259	2,665,882
売上総利益	1,292,500	686,125
販売費及び一般管理費	551,700	525,408
営業利益	740,800	160,716
営業外収益		
還付加算金	—	462
違約金収入	9,200	—
その他	1,182	174
営業外収益合計	10,382	636
営業外費用		
支払利息	18,692	16,175
その他	2,210	1,184
営業外費用合計	20,903	17,359
経常利益	730,279	143,993
特別利益		
保険解約返戻金	55,658	12,533
特別利益合計	55,658	12,533
税金等調整前四半期純利益	785,937	156,526
法人税等	285,829	61,001
四半期純利益	500,108	95,524
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,108	95,524

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	500,108	95,524
四半期包括利益	500,108	95,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,108	95,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p>

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,911,736	35,828	4,947,565	1,193	4,948,759	—	4,948,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,911,736	35,828	4,947,565	1,193	4,948,759	—	4,948,759
セグメント利益	836,789	20,415	857,204	1,193	858,398	△117,598	740,800

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,111千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,709千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,325,457	25,748	3,351,205	802	3,352,007	—	3,352,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,325,457	25,748	3,351,205	802	3,352,007	—	3,352,007
セグメント利益	264,808	11,370	276,179	802	276,981	△116,265	160,716

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,090千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,355千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。